

# 平成 26 年度 第 4 回中野市豊田地域審議会 会議録

開催日時および会場 平成 27 年 2 月 26 日（金）午後 3 時 00 分～5 時 05 分  
中野市豊田支所 2 階大会議室

## 出席委員および欠席委員氏名

出席委員（10 名） ・原田孝男 ・大内ふじ子 ・中島守成 ・臼井今朝徳 ・小林健一  
・西野公代 ・北山和夫 ・神田一枝 ・宮島一典 ・小林日出夫  
欠席委員 ・長澤京子 ・高橋一美 ・北山和江 ・高野日出男 ・清野貴子  
出席職員（18 名） ・市長 ・副市長 ・教育長 ・総務部長 ・健康福祉部長  
・子ども部長 ・くらしと文化部長 ・経済部長 ・建設水道部長  
・消防部長 ・教育次長 ・会計管理者 ・豊田支所長  
・議会事務局長 ・地域振興課長 ・地域振興課長補佐兼総務係長  
・地域振興課長補佐兼振興係長 ・地域振興課市民生活係長

## 議題および議事の顛末

### 1 開 会 【豊田支所長】

### 2 会長あいさつ

○会 長： それでは開会にあたりまして、一言ご挨拶をもうしあげます。本日は第 4 回豊田地域審議会ということで、昨年提出した意見書、その内容について、本日、市長さんをはじめ多くの関係者の方々におこしをいただきました。委員の皆さんにもお忙しい中ではありますが多数、出席いただきました。ありがとうございます。日本全国いろいろな災害等、この地域でも昨年、大きな地震がありました。それほど大きな被害もなく比較的平穏な年であったかなと思っています。一週間ほど前には、替佐地域では近接しているお宅の家から雪が落ちて住宅へ流れ込んだとか、物置が雪でつぶれたとかありましたが、もう春という雰囲気もありますけれども、まだまだ冬でございますので各地域では心配をしながら過ごしているかと思えます。この豊田地域審議会、10 年目をむかえて意見書を提出し、各関係部署の部長さん方に回答をいただきながら、最後の会議となりますので、項目ごとに質問をいただければと思います。意見書を提出した際に市長さんをお願いしたところ、快く受けていただき本日の会議が設定されました。この会議が最後を締めるにあたっていい締めとなりますようにご協力をいただきたいと思います。本日、会議後には、懇談会も用意されております。最後までお付き合いいただければありがたいと思います。そして慎重審議のほどよろしくお願ひします。

### 3 市長あいさつ

○市長： 皆さんこんにちは。豊田地域審議会開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。例年になく雪が多い、早い時期からの積雪、去年は非常に災害が多い年でありましたが少しずつ春めいてきているのかなと感じております。今年度第4回目の審議会を開催したところ、お忙しいところ委員の皆様にはご出席を賜り心より御礼を申し上げます。本日の審議会は、平成26年11月20日付けで提出していただきました「豊田地域審議会意見書」についてご回答を申し上げ、意見交換をさせていただきたいと思っております。平成17年4月1日に設置しました豊田地域審議会でございますが、本年3月31日をもって設置期間が終了となります。この10年間に4回、豊田地域の振興についての意見書をご提出いただきました。豊田地域の振興、中野市全体の発展を願っての貴重なご意見につきましては、真摯に受け止め、事にあたって参りたいと思っております。ここにきまして、この10年という締めでございますけれども、来月3月14日、新幹線が来て、この豊田地域の振興につきましても、周辺環境が大きく変わって参ります。3.11の折、故郷の歌が世界的にも有名になり、この地域が観光のいわゆる拠点、目玉としても中野市にとって重要な財産になると思っております。それにもまして、私たちの日々の暮らし、そしてそれらを良くすることによって、皆さんに訪ねていただける、それが地域振興につながるということになればと思うのですが、今日の審議会は10年という節目、最後でございますけれども、これがまた新たなスタートでもあると思っております。先ほど会長さんからもありましたが意見交換会等において、じっくりと皆さんとお話しできる時間が持てればと思っております。最後になりますが、中野市のさらなる発展に向けまして、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞ本日はよろしく申し上げます。

### 4 協議事項

○豊田支所長： ありがとうございます。それでは協議事項に移らせていただきたいと思います。地域審議会の設置に関する協議書第7条第4項の規定により、会議の議長は会長がこれに当たるとなっておりますので、協議進行よろしくお願いたします。

○議長： それでは議長を務めさせていただきます。先ほども申し上げましたが最後の協議会となるわけでもありますので、スムーズな議事進行にご協力をいただきたいと思います。また協議に入る前に委員の皆様にお願いたします。会議録作成の関係もありますので、発言される場合はお名前をいただいてからの発言ということでお願をしたいと思います。それでは協議事項(1)「豊田地域審議会意見書」に対する回答を議題といたします。こ

の意見書、先ほども申し上げましたが、昨年の11月20日に今年度の審議会として市へ提出されたものでございます。その内容について、事務局から説明を申し上げますので、それに対する回答という形で、関係所管部長等からご発言をお願いしたいかと思っております。

### (1) 「豊田地域審議会意見書」に対する回答について

○議長： それでは、はじめに、現状・課題と振興に関する提言の<sup>1</sup> 地場産業の育成と観光振興について、事務局より説明をお願いいたします

○地域振興課長： 着座のまま説明させていただきますがどうぞよろしく願いいたします。お手元の資料1でございますけれども、ただいま、議長さんの方から申し上げましたとおり昨年の11月20日に市に提出していただいたものでございます。豊田地域審議会意見書に基づきまして、提言について私の方から説明をさせていただきますがよろしく願いをいたします。意見書の3ページをご覧くださいと思います。<sup>1</sup>の地場産業の育成と観光振興でございます。この現状と課題でございますけれども申し上げますと、本市は農業を基幹産業として発展し、農産加工品の販売は好評を得ておりますが販路については十分確立されていないのが現状であります。観光資源として有益な地域資源はたくさんございますが、本市への玄関口となり得るJR飯山線の替佐駅と上今井駅がございますということと、それからJA中野市とJA北信州みゆきの2つの農協がそれぞれに農業振興に取り組んでいるという4点がございます。

これを受けまして提言でございますけれども、1点目といたしまして、経済振興の観点から地場産業としての農産加工品の消費拡大を図るため、既存の販売網での販売促進はもちろんのこと、広域的な観光振興施策と連携し販路拡大施策を推進し、同時に温泉施設や自然環境などの地域資源、JR飯山線の替佐駅と上今井駅を活用し広域的な観光の振興についても推進していただきたいというところ、それから2点目といたしまして、全国的に認知されるような質の高いブランド商品として地場産業を開発するために事業者への支援をお願いしたいというところ、それから3点目といたしまして市の経済基盤を支える農業が継続的に行えるよう千曲川沿いの無堤地区の築堤整備を強力に推進していただきたいというところ、それから4点目としまして地場産業の育成にあたっては生産者が必要に応じて柔軟な取り組みができるよう協力支援をしていただきたい、以上が現状と課題を受けた提言でございます。よろしく願いいたします。

○議長： ありがとうございます。ただいま説明をしていただきました、地場産業の育成と観光振興について、担当の経済部長、建設水道部長、それぞれ回答をお願いしたいと思います。

○経済部長： 大変恐縮でございますが座って説明させていただきます。それでは最初にご提言いただきました関係でございますけれども、お手元に資料2としてお配りしてあるかと思いますが、地域の農産物あるいは農産加工品等につきましては、市の魅力をPRする手段として様々な機会を活用してお知らせしているところでございます。昨年、横浜市で開催した信州なかのフェア等、あるいは銀座NAGANOでのPRイベント、首都圏の消費者に見ていただいたり食べていただいたりする機会を設けまして、農畜産物あるいは農産加工品の紹介を行ってきているところでございます。豊田地域には魅力的な温泉施設、あるいは故郷の原風景などがございますので、訪れる方を魅了するものとして市としても考えているところであります。玄関口となるJR替佐駅、上今井駅につきましては3月14日に開業いたします北陸新幹線飯山駅に関係いたしましてその重要性がますます増えるものと考えております。この長野県北部地域に来ていただいた観光客の皆さん、いかに来ていただくかということで本市の誘客に繋げることをいろいろ考えているところで、とりわけその手段として広域観光の方にも力を入れているところでございます。例を申しあげればすでにご承知かと思えますけれども信越自然郷、いわゆるこの中野市以北の9市町村、妙高市まで含めて9市町村で連携しているものもでございます。つい先日2月21日だったと思いますが、信濃毎日新聞に北信三市の連携というようなことも記事として載っていたかと思えます。そういったこと、さらにはつい先日ですけれども、まだ具体的には進んでいない部分がありますけれども、小布施町とも少しずつそういったことで連携できないかということで、今、模索してきているというところでございます。そんなことを通じながら豊田地域のPRに努めて参りたいと考えているところでございます。

続きましてご提言の2番目でございます。質の高いブランド商品という話をいただいております。まず、作る方はいろいろと私どもも生産振興という部分ではご指導を申し上げてきているところもありますけれども、販路拡大に必要な技術と言いますか、ノウハウをやはり生産者にももっていただきたいということで講習会を開催してきているところでございます。昨年度の例を申し上げますと、地域職業訓練センターを使いながら売れる見せ方、あるいは伝わる言葉というような講習会を開催いたしまして、キャッチコピーの作り方ですとか、販売促進カレンダーで商品をアピールしていく方法ですとかといった講習を受けていただいているという経緯もでございます。また、商品開発の支援といたしましては農商工連携が重要と認識しておりまして、農商工連携講習会を開催いたしまして、チラシあるいはパンフレットの作り方などもそれぞれ事業者の方に勉強していただいているところであります。またそういった研修会、講習会を通じて参加いただいた事業者の方にそれぞれ連携していただいて、新たな商品作りができないかというようなマッチング等のいわゆる橋渡し等もさせて

いただいている経過がございます。また地域ブランド化の推進ということで一昨年に作りました観光 PR 用シンボルマーク、これは事業者さんに登録いただければお使いいただけるわけでございます。今日のこの会議の次第の左上に薄墨で印刷されております、これが一昨年に作りました観光 PR 用のシンボルマークでございます。これは事業者さんに登録いただければ一定の条件の中で自由にお使いいただいて、中野市の商品でありますよというように使っていただいてご活用いただければと思います。現在、中野市では登録事業者さんは 134 事業者さん、そのうち 11 事業者さんが豊田地域でございます。そういったことで活用いただいていると、また「故郷のふるさと」という登録の利用権といいますか使用権、使う権利をいただいております。そういったことで PR に努めているところでございますし、フェイスブック等のソーシャルネットサービス、そういったものも使って可能な限りの PR に努めているところでございます。

それでは 1 つ飛ばしていただいて 4 つ目の提言でございますけれども、生産者の皆さんに柔軟な取り組みができるように協力いただきたいということで提言をいただいております。特色ある地場産品を育成するということは商品という意味では非常に特化できるわけで優位性ができるという認識をしております。中野市は JA 中野市と JA 北信州みゆきというそれぞれの農業団体にお付き合いいただいて農業振興に努めているわけでございますが、とりわけ市といたしましては新しい品種、新しい品目を早期に産地化したいというようなことで、ご支援を申し上げてきている経過がございます。そんなことを図りながら、いわゆる商品の差別化等も進めてきているところでございます。私から申し上げるのは以上でございます。

○建設水道部長： よろしくお願いたします。座って説明させていただきます。千曲川沿いの無堤地区への対応でございますけれども、上今井橋下流兩岸の築堤事業については、国土交通省へ北信地域千曲川等改修促進期成同盟会等を通じまして強く要望しているところでございます。平成 26 年 1 月に国の方で策定の信濃川水系河川整備計画によりますと、同箇所築堤計画は記載されていない状況ですので、引き続き機会を捉えて無堤地区解消に向けた要望活動を行っていきたいと考えております。この信濃川水系河川整備計画では、昭和 58 年の水害の時に家屋浸水をなくすというようなことを目的とし作っておりますので、国からはどうしても水田畑地については後回しになるということで言われております。これにつきましては今年の 11 月にやはり千曲川河川事務所に要望活動していますけれども、この中で今日お見えの上今井区長さんからも強く無堤地区解消を出されたんですけども、やはり河川事務所長の方から、まずは人家優先でさせていただきたいと回答がございました。今後とも強く語りかけていきたいと思っております。国では上今井の築堤の 58 年に対応する嵩上げ、それから替佐でもそれに

対応する最終的な形を作っていくということでご理解をいただければと思います。回答については以上でございます。

○議長： ありがとうございます。それではただいま、地場産業の育成と観光振興について回答をいただきましたけれども、ご質問等ございましたら先ほど申し上げましたように、お名前等言ってからご発言をいただきたいと思っております。

○委員： 本来であれば 11 月に意見書を出した時点で地域審議会は終わりだなというところを、わざわざ今日は市長さんはじめ各部長さんにおいでいただきました。本当にありがとうございます。そんな中で最後の地域審議会の中で質問をさせていただきますけれども、**1** (1) この中で北陸新幹線の開業ということで、私の目の前にポスターがありますが、非常に重要性が増してくるわけですが、ここらへん何か施策はされていますかどうか教えていただきたいと思っております。それと (4) の JA の統合の話なんですけれども、今、JA も統合ということでいろんな報道がされているんですけれども、例えば統合したでっかい JA と中野市農協ですかね、ここらへんやっぱり北信州みゆき自体が全体からすれば薄れる中で、ここらへんの施策がちゃんと統制できるようにしていただきたいと、こんなことです。

○議長： それでは新幹線と JA それぞれ話していただきましたけれども、それぞれ回答をいただければと思います。

○経済部長： まず最初に 3 月 14 日に開業の新幹線に絡んだ取り組みでございます。いわゆる農業分野とは異なるんですけれども観光分野という部分で具体的に取り組みをしております。いくつもやっているわけではございませんけれどもひとつ例をあげますと、先ほども申し上げました飯山市、中野市、須坂市の三市連携の際、その記事にも出ているんですけれども、御開帳に合わせたバスツアーを三市のほかに長野市も含めてそれぞれ四市の観光担当部署と観光協会が連携をいたしまして、飯山駅で降りたお客様を観光バスで少しずつ南の方へ、まず飯山の観光施設に寄っていただき、中野市でお昼を食べていただき、須坂に寄り長野市に行って御開帳を見ていただくというような、いわゆる旅行商品の企画をさせていただきました。そんなことでゴールデンウィークの期間の中の 5 日間だけですけれども、そういった募集が始まろうとしております。ただ、募集については私ども中野市行政、さらには中野市の観光協会もその資格をもっておりませんが、飯山市の観光局はそういった資格をもっておりますので、そういったところで募集の PR、あるいは代金の收受等をやっていただく、もちろん長野電鉄にもご協力いただくということになっている、そんな取り組みをやらせ

いただいているところでございます。それから2つ目のご質問のJA統合の関係でございますが、私どもとすれば行政なものですから、なかなか向こうの問題について発言させていただくというのは非常に微妙な立場でして、細かいことは申し上げる立場ではないと思っておりますけれども、いずれに對しましてもそれぞれ地域の農業、あるいは農業者の皆さんに関わることでございますから、私どもとすればその動きを注視していきたいなというようなスタンスでおりますのでよろしくお願ひいたします。

○委員： いずれにしても豊田地域、また新幹線については豊田地域、中野市にとっては非常にやり方によっては追い風になるということで、受動的ではなくて積極的に能動的に施策を進められるようお願いをいたします。

○議長： 他にございますか、ございませんか、また最後にはトータル的にやりたいと思いますが、とりあえずこの部分は終わりにして次に移らせていただいて、それでは<sup>2</sup>防災体制の整備及び道路網の整備に関して、現状、課題と振興に関する提言の説明を事務局の方からお願いをします。

○地域振興課長： それでは説明を続けさせていただきます。資料2の3ページをご覧くださいできればと思います。<sup>2</sup>の防災体制及び道路網の整備の関係です。現状と課題でございますけれども、本市は地理的な要因により雪害や水害、それから土砂災害などの自然災害と常に隣り合わせているというところで、千曲川をはさむ豊田地域と中野地域を繋ぐ道路は上今井橋のみであり、市全体を見ても道路整備が遅れていると感じているというところ、それから地区によっては指定されている避難施設が非常に遠く、有事の際に避難施設として機能するのか不安があるという、こんな現状と課題でございます。

これを受けまして提言の1点目しまして、住民が安心して生活できるよう総合的に判断して、雪害、水害、土砂災害の対策強化、それから避難施設の整備、各区の防災支援を図りたいということ、特に上今井の本沢川の内水処理の解消に努められたいということ。それから4ページにいきますと提言の(2)といたしまして、市全体の均衡ある発展、そして災害時に迅速かつ適切な対応を図るために道路網の機能的な整備を推進してほしい、とりわけ三水中野線、牟礼永江線、南永江替佐停車場線及び飯山妙高高原線の整備、国道117号替佐静間バイパス及び豊田中野線笠倉壁田橋の開通について早期実現を図るとともに、志賀中野有料道路の無料化など代替処置を検討されたいということ、以上でございます。

○議長： ありがとうございます。それではただいまの説明について(1)については総務部長、(2)については建設水道部長にそれぞれ回答の方をお願いしたいと思います。

○総務部長： それではお願いいたします。私の方から提言の（１）の防災体制の関係でお答えしたいと思います。以後、座ってお答えしたいと思います。よろしくお願いいたします。防災体制の整備につきましては、本市には現在、自主防災組織が 30 区に設置されておりまして、有事の際にはそれぞれ迅速な活動が行えるよう各区防災組織によって差はあるようですが消火訓練や応急手当訓練等を実施しております。市では自主防災組織が全ての区に設置できるよう今後も支援して参りたいと考えております。避難施設についてであります、現在地域防災計画におきまして耐震性がある学校体育館や区集会場等を避難施設として指定しております。耐震基準を満たしていない集会所等の耐震工事や新築工事などご希望がある場合は、中野市公会堂建設事業補助金という補助制度もございますのでそれらを活用していただきたいと考えております。避難施設につきましては、今後も耐震性や規模などを総合的に判断して新たな施設の指定等を行って参りたいと思っております。次に内水対策についてであります、千曲川の築堤整備に伴いまして各樋門に排水ポンプの整備を進めるとともに、排水ポンプ車や移動式の排水ポンプを早期に配備するよう対応して参りたいと考えております。また実践に即した水防訓練を実施するとともに水防資機材の充実を図って参ります。住民の皆さんが安心して生活できますよう、今後も国や県と連携しまして一層の安全対策を図って参りたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。私の方からは以上です。

○建設水道部長： （２）の関係ですけれども着座のまま説明、回答させていただきます。国・県道の改良促進につきましては中野市土木事業要望会、それぞれ各期成同盟会等を通じまして事業着手区間の早期完成、それから未改良区間の改良促進を要望してきております。引き続き強く要望して参りたいと考えております。それから志賀中野有料道路につきましては平成 37 年 3 月 15 日で料金徴収が終了する予定と県はお話しておりまして、夜間無料化の社会実験は継続的に実施されているところですが、終日無料化については引き続き中野市土木事業要望会を通じて要望していきたいと考えております。ちょっと提言にございます個別の道路の状況でございますけれども、一般県道三水中野線の上今井栗林間 420m ございますけれども、これについてボックスカルバート特殊工も終了しておりまして、今後も現道の切り回しをしていきながら大俣地区への入り口部分の道路等を進めながら、何回か切り回しをしながら嵩上げを進める想定だそうでございます。それからその先の栗林から安源寺の交差点の間につきましては今年度から用地買収を一部着手していただいております。それから一般県道の牟礼永江線ですが残工事区間が 140m あるわけなんですけれども、現在、県の事業は休止中ということでございます。未買収地が一か所あるわけなんですけれども、国道 117 号バイパスでも収用された地権者と同一なんですけれども、



収容後は地権者からリアクションがあるかと思ったんですけれども、ちょっとないというような状況でございます。長野県では調整を図っていただいているところでございます。それから主要地方道の飯山妙高高原線親川バイパスですけれども、これについては県では平成 31 年度の供用開始の想定で動いていただいております。今年度 2 月 6 日に用地の調印式をさせていただいております。これで用地のストックができましたので、今後ほかの地区でも予算が余ればどんどんつけていただける状況になりますので、県でも 31 年と言わず早めに開通させたいという意気込みでいただいております。それから国道 117 号の替佐静間バイパスですけれども、これにつきましては昨年の 12 月に県の土地になりましたので、ここで順次工事を進めていくということで、県の想定では平成 28 年の秋までには開通させたいという予定で事業を進めております。それから一般県道豊田中野線笠倉壁田橋のところですが、これにつきましては、今年、壁田側の用地買収に着手して、たいへんな買収が今年で済みしましたので、来年度以降そちら側の埋蔵文化財調査に入っていく予定だそうです。豊田側についても平成 27 年度で橋の下の取り付け道路ですね、この関係を実施していくということでもあります。それから橋梁にかかるわけなんですけれども、これの詳細設計に平成 27 年度は入りたいということでもあります。それとすでに開けていますけれども斎場なんです、斎場が笠倉地区にできるということで斎場に入れる部分は県でも舗装していただけるということで、私ども市道の方でも笠倉の道、改良しつつありますけれども一体的に使えるようにさせていただけると予定しております。以上でございます。

- 議 長： ありがとうございます。ただいまそれぞれ説明をいただきましたが、先ほど同様にご質問、ご意見ございましたらお願いしたいと思います。
- 委 員： はい。昨年は非常に災害が多かったということで、特に土砂災害はいつでもどこでも起こるかわからない状況でございました。昨年、永田地区で土砂災害訓練をおこなったわけでございますけれども、そのあとまた土砂災害準備情報というのが出て、私も区長であったわけありますけれども、非常にどういう対応をすればいいのか迷ったわけでございます。現在、中野市で防災体制の見直しを行っているというようなことでございますので、どういうところをどのように見直しているのか、今の時点でお分かりになりましたらお願いしたいと思います。
- 総務部長： 今、中野市防災計画というものをもちっておりますが、先日この防災計画の変更を行いました。防災会議でお諮りをして防災計画の改正を行いました。この回答の中身ですが手元に資料ございませんので細かいところまでは申し上げられませんが、基本的には昨年からの国の防災計画が改正になり

まして、それを受けて県も改正をいたしました。それと整合がとれるように市の防災計画も改正をしたというのが今回の改正でありまして、大変恐縮ですが、今、手元に資料がないものですから細かい部分までは申し上げられなくて、ただ避難施設等につきましては先ほども申し上げましたようになるべくいい形にしていけるようにということで、常時その都度改正していくというような予定でおります。よろしくお願ひいたします。

○議 長： 他にございますか。

○委 員： よろしくお願ひします。市民の安心安全の生活のために日夜お仕事にご尽力くださることにつきまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。4 ページの回答の中ですけれども、志賀中野有料道路につきましては平成 37 年 3 月 15 日で料金徴収が終了となっているんですけれども、37 年と言うと今から約 10 年も先になるんですけれども、どのような料金収入になっているのか、そのへんちょっとわかたら教えていただきたいんですけれども、やはり 10 年も先にいかないで少しでも早めに料金徴収が終了されるような方策とかを考えていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○建設水道部長： 志賀中野有料道路につきましては県の道路公社が維持管理をしているわけなんですけれども、その関係で昔の NTT の資金を借りて造ったものですから法的にいつまでに何年かけて返すという形になっていまして、どうしてもこういった年数になってきています。現状ですけれども、去年は新聞等にも出ているかと思ひますが、志賀中野有料道路については何年か前から社会実験がされてきているんですけれども、県下で 10 路線ほど有料道路がある中で実は収入の悪い方に入っているわけなんですけれども、それでも県ではそういった社会実験をしております、最近、何路線か他のところで収入があるところでも社会実験を始めているという状況なんですけれども、なかなか公社をやめない限りこの年数を変えるというのは難しいようでして、公社が解散ってことがない限りは早まるというのはなかなか難しいというようなことございまして、私ども市とすれば、何とか言える機会の時に要望しているわけなんですけれどもなかなかその壁が厚いということが現状ございまして。

○委 員： ありがとうございます。本当にまたそういうことにおいて、地域に栄える要望を是非、今後もお願ひしたいと思ひます。

○議 長： はい。

○委員： それでは（１）の方でお願いしたいと思います。防災の拠点というと新市の新しい市庁舎が防災の拠点だと言われるのですがけれども、住民らは一番は自ら避難する施設が拠点となりうるかなと思うわけですがけれども、私たち集落の集会所もここは避難施設ではありませんという張り紙がしてありまして、我々はこの豊田支所に来るようになってるんですけども、隣に豊井小学校がございますがここは上今井地区の避難所ということになっていきます。だけど実質的にはすぐ隣だからすぐそこへ逃げ込んだ方が早いんじゃないかなと、実質的な避難所を表していただいた方が良いのではないかと、いつも言っていて申し訳ないんですけども、上今井地区の避難所は豊井小学校ということをお聞きしているんですけども、上今井から豊井小学校まで来るのに２kmあるいはもっとかかるというところで果たしてそういうのが避難所になるのかなと、もし何かあったとき大丈夫なのかなという思いにもなりまして、ここに公会堂建設補助金というのを使ったらということなですけども、なかなか今それぞれの区、あるいはその下の地区常会等、補助金をいただいたところでできる建物はございません。３分の１の助成で上限１,２００万というお話は聞いたのですがけれども、ここらへんちょっと緩和していただきながら地域の本当の拠点ということをお考えいただきたいかなと思います。もう一点（２）のところなんですけれども、確かにNTTの何かでなかなかやめられないという話なんですけれども、私は中野市民であり長野県民であり、行政改革という道ばかりいじっていてそれが建設費になって、それよか今あるものを有効に使ったほうが新しいものを作らなくても、もしかしたら対応できるんじゃないかなという考え方からいけば、早期に無料にさせていただいて、今ある計画、今、用地買収から始まったという話なんですけれども、ここらへん大変なことになるかもしれないけれども、そんな思いをもっております。本当にもし、いいことであれば推進していただきたいかなと思います。この２点お願いします。

○総務部長： まず１点目の避難施設の関係ですが、この避難施設につきましてはまずは緊急避難場所ですね、例えば地震がきたからすぐに避難してくださいと、それで避難していただく場所が緊急の避難場所です。それで地震がおさまったところで避難所ということで、これはある程度一定の期間避難していただく、滞在していただく場所ですね、この２つがあります。それで各地区の公会堂というのは考え方とすれば一時避難場所というのですが、そのコミュニティの中で皆さん集合していただいてそこから避難していただくという考え方で、市が本当に指定している避難場所、それからその後、滞在を含む避難所というのはいわゆる体育館とか校庭、避難場所というのには校庭なんかが多いわけなんですけれども、そういう所に避難していただいて、その後に、学校の体育館ですとか文化センターですとかしっかりし

た建物の方に移っていただくと、そんなような考え方でおります。そういう考え方の中で、各地区に指定をさせていただいているのが現在の避難場所及び避難所の指定になっておりますので、そのへんご理解いただきたいと思います。あくまでもその各地区の公会堂がそれぞれ避難場所であり避難所であるということではなくて、今の学校ですとかグラウンドが緊急の避難場所であり、その後、避難所は体育館や文化センター等であるとそのようにご理解を頂ければと思います。よろしく願いいたします。それと後、公会堂の件になりますが耐震の方は昨年から補助対象としましてこんごまた皆さんのご希望をお聞きする中で制度についても考えて参りたいと思います。以上です。

○委員： わかりました。

○建設水道部長： 有料道路に関するお話なんですけれども、今のご意見をもって強く要望して参りたいと思います。逆にそれによって豊田中野とか中野三水の付きが悪くなっても困るので、そのへん上手にやっていきたいと思いますのでよろしく願いします。

○議長： ありがとうございます。

○委員： 一言お願いといいますか、上今井本沢川の内水処理の解消があるので一言お願いやら私の気持ちなんです、本沢川の氾濫が平成 17 年か 19 年にあったと思うんですが、ちょっとその時の状況を思い出して、本沢川の排水が出る場所から出なくなっちゃうと海みたいになって、そこで排水ポンプしている姿を遠くから見えていたら、まるで海の中でストローから吸い上げているような感じがするんです。そこへ消防団員の皆さんと数台の機材があつてやっているのを見ましたら、あれ一步間違えれば土手が崩れれば本当に消防車と排水ポンプと一緒に消防団員も流されていくんじゃないかと高台から見えていました。最近はそのようなことはないのですが、でも全国的に集中豪雨があつてすごい被害も去年あちこちであつたと思うんです。危機的な感じだと思ってここらへんの排水ポンプの整備をよろしく願いします。以上です。

○消防部長： 座って申し上げます。よろしく願いします。神田委員さんからお話がありましたように、水防全般につきましては私ども消防が所管しております、特に本沢川、だいぶ大きな川が千曲川に流れておるわけでございますけれども、過去にも何度か水害が発生しております。内水につきましては当時といたしましては当然、今、言っていたいただきましたように大型排水ポンプを揃えたり水中ポンプを揃えたり、本沢川にしてみましたら所管は

違います。固定式の排水ポンプを揃えて水害に対応しております。降る雨の量によって押し出してくる水の量にもよるんですけども、私どももできるだけ持っている資機材を有効に活用して被害の軽減に努めたいと思っております。その中でたいへん温かいお言葉をいただいたのですが当然個々に活動してもらうのは消防団なんですけれども、私も平成18年の時に現場におりました。千曲川の本流が盛り上がりまして今にも堤防が溢れるようになった場合、当然それは早めに住民の方に避難してもらいますけれども、活動しますわたくしも隊員も勇気ある撤退、私は指揮者でありますので隊員や消防団に対しては自らの命を二次災害で落とさないように勇気ある撤退を考えながら活動させていただきますので、ご理解いただきたいと思っております。以上でございます。

○委員： はい。ありがとうございました。

○議長： 他にございますか。なければ次に移つりたいと思っております。〔3〕自然環境の保全と活用に関して、現状、課題と振興に関する提言の説明を事務局の方からお願いをします。

○地域振興課長： それでは資料の5ページを開いていただければと思っております。自然環境の保全と活用でございます。現状と課題がございますが、1点目は高野辰之が作詞した唱歌「故郷」にうたわれている原風景は本市が誇る財産であり地域住民の心の拠りどころであります。近年、産廃処理施設の建設計画や水資源にかかる不透明な土地買収は自然環境の破壊につながるおそれがあると懸念されております。2点目としまして千曲川や中小河川が流れ起伏にとんだ地形は小水力発電に適しており、公共施設や遊休荒廃農地等においても太陽光発電が可能と考えられるというところです。

これを受けまして1点目は国、県や近隣市町村と連携して環境破壊につながるおそれがある行為に厳しく対応し自然環境の保全に努めていただきたいというところ。6ページにいただいてまして2点目の提言といたしまして、緑豊かな故郷の自然を子たちに受け継いでいけるよう童謡唱歌の里づくりを推進していただきたいというところ。それから3点目の提言といたしまして自然エネルギーの活用について検討し、将来的には地域全体に普及できるような施策を推進されたい、以上でございます。

○議長： ありがとうございました。それではくらしと文化部長、回答をお願いします。

○くらしと文化部長： 最初に自然環境の保全についてでございますけれども、今までも回答を申し上げていて参りました内容と変わりませんが、まず最初に新たな産廃

処理施設の建設計画についてでございます。県及び近隣自治体と情報を密にして豊田地域の皆様に情報提供して参りたいと考えております。具体的に飯綱町の明光という企業が芋川地区に産廃処理施設を計画しているという情報がございますが、概要計画が去年 12 月に出される予定あったわけですけれども、現在のところまだ提出されておられません。提出があればその計画について精査するとともに地域住民の皆様の意見を尊重して参りたいと考えております。それからすでに設置されている千曲川兩岸の産廃処理業者につきましては県と市が主導して地元区との連絡会を毎年行っております。今後も継続していきたいと考えております。それから水資源の関係でございますけれども、有効な手段といたしましてはそこにも記載させていただきましたが、県の条例に基づく水資源保全地域の指定をすることができますけれども、これをするにはまず市町村長が県に対して申し出をするということが原則となっております。それには対象地域の皆様、地主さんでございますけれどもその皆さんの意向の調整が必要になります。また水源、上流部が近隣自治体になっている場合等につきましてはそちらの自治体に依頼するというようなことも必要になって参りまして、現段階では困難な状況ということでございます。これにつきましては今後も研究して参りたいと考えております。

続きまして 6 ページになりますけれども童謡唱歌の里づくりの関係でございますが、平成 27 年度に第二次中野市総合計画及び第二次中野市国土利用計画を策定する予定となっておりますので、計画の中で施策内容を検討して参りたいと考えております。童謡唱歌に関しましては、学校教育をはじめ、非常に童謡唱歌を歌う機会が少なくなってきておりますので、市民音楽祭、晋平記念館まつりなどにおきまして、多くの音楽団体の皆様に歌っていただけるようお願いをしております。それから具体的な事業と致しましては、今年度、唱歌「故郷」、「朧月夜」が誕生して 100 周年をむかえるということから記念のイベントを開催してきております。豊田地域におきましては、豊田文化センターで高野辰之記念祭を開催いたしました。辰之の人物像にスポットをあてた講演会並びに弦楽四重奏によるコンサートで高野辰之先生の功績と唱歌の魅力を紹介し、童謡唱歌のふるさとであることを広く発信して参りました。今後も童謡唱歌が後世に歌い継がれるように、北陸新幹線開業を契機に信越自然郷などの広域連携の機能を十分に活用し童謡唱歌の普及に努めてまいります。本年度は童謡・唱歌のふるさと信州中野アンサンブルフェスを開催いたしました。また、音楽親善アンバサダーの麻衣さんにも童謡唱歌、中野市が「故郷のふるさと」であるということをお知らせしていただいておりますので、今後もお力をお借りして取り組んで参りたいと考えております。

それから、3 点目になります。自然エネルギーの関係でございますけれども、この活用につきましては県と市町村が連携した自然エネルギー推

進研究会というものがございまして、その中で、導入に向けた意見交換等を行うとともに、地域特性に応じた自然エネルギーについて、今後も研究をして参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

○議 長： ありがとうございます。ただいま、説明をいただきましたが質問等ございますでしょうか。

○委 員： 自然環境のところで、先ほど、産業廃棄物の最終処理場の建設ということで、昨年、飯綱町の芋川区と協議会をつくり、建設に反対してきました。いろいろと関係各位の方々にご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、議会で要望書を取り上げていただき、また、意見書として県に出していただいたということでたいへんありがとうございました。その後、12月の時点で、正式に計画は出ていないということでございますけれども、出た時点で早急に対応をして参りたいというふうに思っております。先ほどの飯綱町芋川区との協議会の会長は飯綱町でございますけれども、先般の豊田地域区長会におきましても副会長2名を増員することとし、万全の態勢を整えていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。高野辰之の故郷、「故郷のふるさと」ということで水は清き故郷ということでございますので、清き水を汚さないように我々もしっかりやっていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

○議 長： 貴重なご意見ありがとうございました。他にございますか。

○委 員： 平成27年度に総合計画の策定を予定しているということですが、高野辰之の100周年ということでいろいろイベントも行われているわけですが、高野辰之記念館周辺には飲み食いができる場所がないわけで、辰之記念館の前にあるテニスコートを半分壊して東屋にするという計画を聞いたことがあるんですが、そういった計画と言うのは総合計画に載ってくるのでしょうか。

○くらしと文化部長： まず総合計画につきましては骨子等をまとめる計画でございます。今ご指摘のありました個別の、テニスコートの関係につきましては、あの施設を永田運動場と称しておりますけれども、平成27年度にテニスコートを撤去いたしまして、一帯を、辰之記念館の駐車場の整備を行うとともに、隣にある運動場、広場と一体的に改修して参りたいと考えております。以上でございます。

○議 長： よろしいでしょうか。

○委員： はい。

○議長： それでは他にございますか。ないようですので次に移ります。〔4〕人口減少・少子高齢化に対する取り組みに関して、現状・課題と振興に関する提言の説明を事務局からお願いします。

○地域振興課長： それでは〔4〕の人口減少・少子高齢化に対する取り組みについて、現状と課題から申し上げます。1点目ですが、豊田地域には65歳以上の人口が50%以上を占める限界集落もあり、とりわけ農業者の高齢化、後継者不足は大きな問題であります。2点目ですけれども、少子化により地区の催しに支障がでるなど、地域の賑わいがなくなっていくことが心配されます。3点目としまして、小中学校の適正規模と適正配置など、子どもたちの成長に影響を及ぼす可能性がある問題が検討されていると。4点目としまして、豊田地域を運行するバスは親川と信州中野駅を結ぶ永田線が1日8往復、豊田地域内のみを運行するふれあいバスが1往復半であり、公共交通機関の利便性が低いということ。5点目として、空き家バンク制度は移住、定住促進の有効な手段のひとつではありますが、施策が効果的に行われていないと感じられるというところでもあります。

これを受けまして、提言といたしまして、1点目で、基幹産業である農業の後継者の育成施策を図ってほしいというところ。2点目としまして、積極的なIターン、Uターン施策を行いまして、若い世代の定着を図っていただきたいというところ。それから8ページへページを進めていただきますと3点目の提言といたしまして、地域コミュニティの基盤でもある小中学校の適正規模と適正配置の検討については、子どもたちの健やかな成長に配慮するとともに地域住民の意見を尊重し対応していただきたいというところ。それから4点目としまして、高齢者や免許を持たない人たちの移動手段として、交通機関の利便性の向上を図っていただきたいと。5点目としまして、空き家の現状把握等の情報収集に努め、効果的な空き家対策を進めていただきたいという提言をしております。以上でございます。

○議長： ありがとうございます。それでは(1)については経済部長、(2)については総務部長、(3)については教育次長、(4)、(5)については総務部長、それぞれ回答をお願いします。

○経済部長： 1点目の提言の農業後継者の育成ということでございますが、私ども市とすれば、まだまだ十分ではないという思いで、いろいろな農業後継者確保の施策を様々な団体あるいは組織と連携をしながら進めてきております。そこに記載されております、まず、国の青年就農給付金の関係でございしますが、これは国が農業者を増やしたいという思いで1年間に150万円



の支援金を申し上げるものでございまして、市を通じて該当する方には申し上げてきている経過がございまして、これは主にはIターン就農者を意識しているものでございまして、私どもとすればこうした制度を活用いただいで、できるだけIターン就農者の方が増えるような対応をしてきたいと思っております。そんなことに絡んで、このIターン就農者の方が、例えば住宅の確保をするにあたって少し支援が必要だとか、あるいは農業をやっていくにあたって少し機械が欲しいということに対しては、市の単独でご支援を申し上げる制度も持っておりますので、そういったことを活用いただくようにPR等を進めていきたいと思っております。それからその次でございます市の新規就農者支援事業、こちらはいわゆる親許就農、いわゆる後継者確保というようなことを意識をして、市の単独、市の独自施策としてやらせていただいております。こちらは1年間60万円の支援金を申し上げているということでございまして。そのような制度、あるいはそこに記載してございますように、県が行っております農業道場、これは農業研修を行う制度でございますけれども、そういったものを活用しながら農業後継者の確保に努めてきているところですし、今後も積極的に対応していきたいと考えているところでございまして。私からは以上でございます。

○総務部長： 私の方からは(2)番、(4)番、(5)番の3点についてお願いいたします。まず、地域の賑わいを創出するためには、積極的なIターン、Uターン施策を行っていくことが必要でないかというお話ですが、市では平成19年度から県が立ち上げた組織でございまして、移住交流の推進組織、田舎暮らし楽園信州推進協議会というのがございまして、そちらに加入をいたしまして、その協議会と一緒に移住交流の推進に努めてきたこととあります。平成26年度、今年度からであります、フェイスブック等を利用いたしまして市の魅力を内外に情報発信していくと、それからあわせて、「空き家バンク事業」を開始いたしまして、空き家の物件情報の登録を行い、中野市への移住、定住の推進を図っていくところであります。なかなか、まだ登録の件数が少なかったり、今後PR、空き家情報の収集が課題かなと考えております。引き続き、昨年、県が銀座にオープンいたしました銀座NAGANOでのイベント等を通じまして市の情報発信に努めて参りたいと考えております。

次にページをめくっていただきまして、(4)公共交通機関の関係であります、市では中野市地域公共交通対策協議会におきまして、現在、豊田地域ふれあいバスの運行を行っているところであります。また、今年度からは長電バス永田線の運行維持のために長電バスに対し支援を実施し、移動手段の確保に努めております。これにつきましては、昨年、長電バスから、中野市に関係する4路線を赤字のため廃止をしたいというような申し入れがありました。永田線は重要な路線ですので、市で赤字を補てんして

運行維持をしていきたいということで、今年度から、赤字分の補てんを始めたものであります。新年度についても、この3月の議会に予算をお願いしていくところであります。いずれにしましても、この移動手段を確保しまして、豊田地域のふれあいバスの運行、それから永田線、両路線を残すために、ぜひ地域の皆さんにも積極的に利用していただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に(5)の空き家の関係でございますが、今年度から、先ほども申し上げました「空き家バンク事業」を開始いたしました。物件の登録に努めているところでございますが、現在、残念ながら2件の登録だけでありまして、あと3件調査中のものがありますが、現在登録されているのは2件だけであります。この空き家の登録につきましても、広報なかの、市ホームページ等により周知をしております。昨年の11月に「空き家バンク活用相談会」も実施いたしまして、この時に8名ほどの相談者の方お見え頂いていろいろとお話をお聞きしたり、また、市の空き家バンクについてPRもさせていただいたところであります。また、新年度におきまして、今、予定しているのは、空き家を活用していただくために市の助成をして参りたいということで、現在、予算の方をお願いしていく予定であります。私の方からは以上でございますがよろしくお願いいたします。

○教育次長： (3)についてご回答申し上げます。着座で失礼いたします。小中学校の適正規模と適正配置の検討についてであります。教育委員会では、児童生徒にとって好ましい教育環境づくりの観点から、昨年いただいた小学校及び中学校適正規模等審議会の答申を踏まえ、子どもたちがどういう姿で教育を受けることが一番望ましい環境であるか等を考え、学校規模の適正化について検討中でございます。地域住民のご意見を聞く中で、教育委員会として方向付けをして参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

○議長： ありがとうございます。ただいま、それぞれご回答をいただきました。ご意見あればご発言いただきたいと思います。よろしくお願い致します。

○委員： よろしく申し上げます。3点ほどありますけれども、まず1点目ですけれども、後継者の育成のことですが、(1)でJA北信州みゆき、市農業再生協議会とありますがけれども、2ページの方では、「2つのJAがありますが、様々な面で調整等を図りながら、均衡ある発展を推進」となっておりますが、ここでJA中野市が抜けているのはどうしてかということをお聞きしたいんです。特に中野市は大自然に恵まれていておりますので、是非、後継者につきましましてはできるだけたくさんの若者ができるように支援を全面的にお願いしたいと思います。もう1点ですけれども、銀座

NAGANO についてですけれども、中野市は銀座 NAGANO がオープンしてから中野市の方で PR をしていたのか、また、これから割り当てといたしますか市町村単位でもいろいろとあると思うんですけれども、もしもそのような時がありましたら、秋ぐらいからの方が農作物、果物もたくさんでと思いますので、上手に設定いただけたら嬉しく思います。それから 3 点目ですけれども、公共交通のことですけれども、豊田のふれあいバスを運営していくには地域の皆さんの利用が不可欠なのは分かっているんですけれども、たまに拝見すると乗客がいなかったり非常に残念と思います。ゼロになったから切捨てということがないように、私たちみんなで考えなければいけないんですけれども、廃止ということがないようにお互いに知恵を出し合いながら、継続していけるようお願いいたします。以上です。

○議 長： それでは 3 点ございましたが、それぞれお願いいたします。

○経済部長： 1 点目の中に JA 中野市が入っていないというようなことですが、大変申し訳ありませんが大意はございません。今回、豊田地域審議会ということでありましたので、JA 中野市という言葉を外してしまったということでございます。当然、私ども、実務をと申しますか、いろいろと検討、協議をしている中では JA 中野市も、あるいはここに記載してございませんけれども、農業改良普及センターの皆さんにもご相談を申し上げながらいろいろ進めておりますのでご理解をいただきたいと思います。次に書いてあります市農業再生協議会というのは、各地区に農業委員さんですとか農家組合長さん、あるいは JA の関係の部会の役員さん方に入っていた協議会でございます、それを網羅する形で市、一本でございます。そちらにもそれぞれの JA の役員さんと言いますか組合長さんもお入りいただいておりますので、そういった中でご相談を申し上げながら進めているとご理解をいただければと思います。

もう 1 点、銀座 NAGANO のお話をいただきました。実務として経済部で対応してきた経過がございますので、私の方でお答えをさせていただきます。中野市といたしましても昨年の 11 月に銀座 NAGANO を使って、お客様方に中野市の農産物、主にはきのこが多かったんですが、味わっていただくイベントを設けました。昼間はそういったことを特定の方ではなく、興味のある方はお入りいただいて、有料で提供してきたということもでございます。夜は中野市のいろいろな食材、野菜等を含めて、中野市のお酒なんかを飲んでいただいて中野市を味わっていただくというようなイベントをやってきた経過がございます。また、中野市として直接、主催をしたわけではございませんけれども、信越自然郷の方でもそういった日を銀座 NAGANO で設けましたので、中野市としても一緒になって参加し、中野市の食材なんかをご提供申し上げて、その際、お越しいただいたのは

旅行関係業者の方、旅行会社の方ですとか、旅行新聞を発行している記者の方ですとかにお集まりいただいて、北信州の食材を味わっていただいて、情報発信につなげていきたいというようなイベントにも参加してきておりますので、ご理解をいただきたいと思います。なお、新年度におきましては、県の方からも積極的に使って欲しいというようなお話もいただいておりますから、私どもとしても、そうした予算を確保しながら銀座NAGANOの活用を進めていきたいと考えております。以上でございます。

○総務部長： 公共交通の関係ですが、先ほど豊田地域のふれあいバスの運行についてお話をいただきましたが、資料でございますように中野市地域公共交通対策協議会、この中でその都度、各バス路線の利用状況等を調査しましてその路線の運行のあり方ですとか形態を検討、必要に応じて見直しも行っているわけでありましたが、先ほど、乗車数が少ないからといってなくすことがないようにというようなお話でございましたが、市としても当然、何らかの形で移動の手段は確保していかなければと、路線の存続という方向で今後とも考えて参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

○委員： 丁寧に説明いただきありがとうございます。よろしくお願い致します。

○議長： 他にございますか。

○委員： よろしく致します。似たような話になるかなとは思いますが、Iターン、Uターンについてなんですけれども、いずれにせよ人口が減ってくる、自然的要因からも社会的要因からも人口が減ってくると、Iターン、Uターンというのは伸びる要素なのかなと思う中で、最終的にはそこに定住するとなればそこでの勤務先というのにも必要になると思いますし、人口減少について県もそうだし各市町村もこぞってこの問題に取り組んでいくと思います。中野市もさらに強力に推進していかなければ、こないだ消滅市町村というのが出ていましたが、そのうち中野市も含められちゃうんじゃないかなと、そんな風に思えば、なおさらこの施策を推進していただきたいかなと、それから少子問題にも取り組めると、人口が増えれば子どもたちも増えて学校も適正規模になると、学校と言うのは地域の拠点ですし、大切なことかなと、ただ少なくなったから人数あわせで統合しようという話も必要なんですけれども、そうじゃない状態を作ろうとする努力も必要なんかなと思います。もうひとつ、ふれあいバスなんですけれども、利用状況をお聞きしながらなんですけれども、永田線が廃止路線の対象になったところ、市の助成をいただきありがとうございます。ふれあいバスと長電のバスをうまく併用しながら存続できないかなと、人が動く朝晩を長電にお願いして、そうじゃないときはふれあいバスをうまく使ってやる

とか、いろいろな選択肢がもしかしたらできるのかなと、そうすれば単なる廃止路線じゃなくて、潤うところを長電がもしもっていけば廃止路線の対象から外れるのかなと思います。もしそんな施策ができたらお願いしたいと思います。

○総務部長： まず、Iターン、Uターンということではありますが、確かに人口を増やしていくというのはいろんな施策が絡み合っただけの話かと思っています。特に増えていくためには、出生数が増えて子どもが増える自然増ですね、それからいろいろな都市から中野市にIターン、Uターンで来てもらう社会増がありますが、自然増と社会増が相まってそれでふえていくというのが一番いいことかと思いますが、先ほど委員さん言われたように、最近ではIターン、Uターンの部分では全国の各市町村が競争をするような形になってきておりますけれども、市としましても今回、保育関係の施策をかなり充実させていただいたりとかですね、人口増に対してはいろいろな施策をそれぞれのセクションで考えていきたいと考えております。ただ、なかなか一朝一夕にできるものではないかなと思っておりますが、今後、それぞれ計画を、先ほど総合計画という話もありましたが、特に平成27年度におきましては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中野市版の計画を作ってまいりますので、そのような中でいろいろ検討して参りたいと、そのように考えます。それから公共交通のことですが、先ほど、永田線とふれあいバスと上手にリンクさせながら、赤字路線をなくしていけばなんとかならないかというお話でしたが、貴重なご意見としていただきまして、今後の検討の課題とさせていただきたいと思いますがよろしくお願いたします。

○委員： ありがとうございます。要するにIターン、Uターンは簡単じゃないということなんですけど、市でも助成してくれたり、いろんなことと並行して、故郷の地であるということも十分にアピールされて、農業もできる、あれもできるこれもできるという触れ込みで、新幹線も近くに駅がある、高速道路のインターは2つあると、どんどんとそういうPRをしながら、とにかくここへ来ていただけるようお願いしたいかなと、そんな風に思います。よろしくお願いたします。

○議長： ただ今のはご意見ということでよろしいですか。

○委員： はい。

○議長： ありがとうございます。他にございますか。なければ、次に移りたいと思います。それでは<sup>5</sup>住民主体の協働による地域振興への取り組みに

関して、現状・課題と振興に関する提言の説明を事務局からお願いします。

○地域振興課長： それでは5番目の住民主体の協働による地域振興への取り組みについて現状と課題から申し上げます。1点目としまして、豊田地域では区長が中心となり、住民の繋がりを大切にしながら、地域の景観整備と地域づくりを行っておりますが、この地区ごとの取り組みが、市全体として広くつながりを見せていないのが実情であります。それから2点目としまして、JR 飯山線駅の無人化や長電バスの路線見直しなど、住民生活に密接にかかわる問題について、情報が市民へ伝わってくるのが遅いと感じられるところなのです。

これを受けまして提言としまして、1点目、住民参加により作り上げたものが広がりを持ち、市全体として住民の絆の醸成とまちづくりへつながることで、さらなる地域振興が期待できるものであり、地区ごとの取り組みが有機的につながり、効果的に市全体に波及するよう、事業推進をお願いするものであります。2点目の提言としまして、地域住民が生活に密接に係わる問題について取り組むためには、少しでも早く地域の問題を知ることが重要であるため、迅速な情報提供、地域住民との行政情報の共有を図っていただきたいという提言でございます。以上でございます。

○議長： ありがとうございます。それではこのことについて、豊田支所長、総務部長、それぞれ回答をお願いしたいと思います。

○豊田支所長： 地区ごとの取り組みが有機的につながり、効果的に市全体に波及するよう事業推進をお願いしますということですが、着座で説明をさせていただきたいと思っております。豊田地域の地域資源を活用し、豊田地域の活性化を図るため、来年度、平成27年度でございますけれども、「地域おこし協力隊」というものも活用していきたいと考えております。協力隊の活用により、地区、あるいは団体等の取組みの連携を図りながら、地域の情報発信等を行うことで、豊田地域の振興と活性化の推進が図れるものと考えておりますということ、来年度、地域おこし協力隊、市としても初めて取り組む事業でございます。そんな中で様々な活動をしていただこうとは考えているわけではございますけれども、この協力隊が地域の起爆剤となって、地域振興が豊田地域全体、あるいは中野市全体にも広がっていく、そんな事業にしていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

○総務部長： それでは情報提供と行政情報の共有というお話でございますが、市では現在、音声告知放送、広報なかの、市ホームページなど、いろいろな媒体によりまして市民の皆さんになるべく迅速に情報提供をしたいというこ

とで努めているわけでありますが、今後とも地区の役員さんとも連携を密にしまして、迅速な情報提供、そしてまた情報の共有ができるように努めて参りたいと考えておりますのでのよろしくお願ひします。以上です。

○議 長： ありがとうございます。それでは、ただいま説明をいただきましたが、これにつきましてご意見、ご質問等ございましたら、先ほどと同様にお願ひしたいと思ひます。

○委 員： 今、地域おこし協力隊について若干の説明があつたんですが、来年度という、あと1ヶ月ほどなわけですけど、協力隊と言うからには一人二人ではないのかなと考えるんですけども、アウトラインと申しますか、どのような人員、人材、市の職員の中で新しい組織を作るのかなど、分かりましたらご説明をお願いします。

○豊田支所長： 地域おこし協力隊でございますけれども、この事業につきましては都市地域の方がこちらの方に住民票を持ってくる中で活動をしていただくということがまず基本的な部分でございます。人員的には来年度まず1名ということで進めていきたいと思っております。

○委 員： 住民票をもってくるということと、1名ということですね。ということは市外からの人を採用ということですか。

○豊田支所長： 都市地域からこちらへきていただくというのが原則でございます。

○委 員： せっかくの新しい取り組みだと思ひますので、是非、うまくいくように、まわりの方でみんなが協力するような体制をとるようにはしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。ありがとうございます。

○議 長： 他にございますか。よろしいでしょうか。それではないようですので、次に移りたいと思ひます。〔6〕地域拠点としての豊田支所のあり方についてに関して、現状・課題と振興に関する提言の説明を事務局からお願ひします。

○地域振興課長： それでは資料の10ページをご覧くださいければと思ひます。〔6〕の地域拠点としての豊田支所のあり方について、現状と課題から申し上げます。1点目としまして、豊田支所は地域住民の日常生活の基盤であると同時に、地域課題への迅速な対応と地域振興の拠点としての役割を担う施設であります。とりわけ豊田地域は自然災害の危険と常に隣り合わせであるため、地域防災拠点として大きな役割を果たしております。2点目としまして、

豊田支所は合併当初6課12係制でありましたが、平成20年度からは1課3係制となり職員数も減少しております。そのため、身近な行政サービスの低下、地域課題の把握の遅れ、災害対応力の低下等が懸念されているところでありますというところです。

これにつきまして提言ですが、地域防災をはじめとした地域を取り巻く様々な問題に対して、住民と行政が協働して取り組んでいくためには、拠点施設としての豊田支所の役割はたいへん重要であり、その機能の充実が必要不可欠であると考えられるところであるという提言を受けております。以上でございます。

○議 長： ありがとうございます。それではこの問題について総務部長から回答をお願いします。

○総務部長： よろしく申し上げます。豊田支所につきましては、豊田地域の事務全般を所掌する部署といたしまして、豊田地域の拠点施設として大きな機能を有していると思っております。今後の支所のあり方についてであります。現在計画しております市庁舎等の整備にあわせて検討して参りたいと考えております。現在、市では行政改革の話もございます。先日も、市民の皆さんに組織いただいている行政改革推進委員会というのがございまして、その中でもお話をさせていただいたところですが、市が行っている行政改革の集中プランの中で、この支所のあり方の検討というものも進めていきたいということで、いずれにしても先ほど申し上げましたように、今後、どんな風にとということにつきましては、市庁舎等との整備に合わせて検討してまいりたいと、現在のところそういう形で考えております。

○議 長： ありがとうございます。今の件について、先ほど同様に質問、意見等あればお願いしたいと思います。

○委員： この問題につきまして豊田地域審議会10年目ということで、10年目の翌年から豊田支所をどうするかという検討に入るんですけども、本来であればこの地域審議会があるうちにいろんな議論をされた方が本当は良かったのかなと、非常に残念に思います。豊田支所も永田窓口サービスステーションも合併前には震度7にも耐えられるというお話も聞いております。今、市庁舎のいろんな問題もございすけれども、ワンストップサービスとなれば、新しいところ、大きなところで、教育委員会まで入って皆さんやられる、これはいいかなとは思いますが、いろんな災害あったり、いろんな対応できるために、サブとして、是非ともこの豊田支所、文化センター等、隣には情報センターの抜け殻もございすし、使用していただきたいかなと思います。ただ潰すとか使用しないとかではなく



て、積極的にお使いいただき、立地的には JR もあります、今度、117号が通ればおそらく江部の交差点の渋滞が緩和されるくらい交通量がこっちへ来る可能性もございます。そんなこんなでこの地域の使い方によっては活きることもあると思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議 長： 特に回答とかはいいでしょうか。

○委 員： そんな内容でなんか発言いただければ。

○議 長： それではお願ひします。

○総務部長： 今のお話ですが貴重なご意見とは思ひます。委員さんおっしゃられたとおり、確かに道路整備が進み、新幹線の開通等がありまして人の流れも変わってくるであろうと、そんな風に思ひます。そんな中でこの施設をどうやって活かしていくかということをも真剣に考えていきたいと思ひますので、また、ご意見を賜ればと思ひます。よろしくお願ひします。

○議 長： 他にございますか。よろしいでしょうか。それではないようですので、「豊田地域審議会意見書」に関する説明、回答については以上といたします。ありがとうございました。

## (2) その他

○議 長： それでは続きまして、その他というところで、それぞれ委員の皆様からご発言をいただきたいというふうにも思ひているわけですが、おおよそ5時頃にはこの会議を閉じたいなと、たいへん勝手ながら思ひておりますので、今、現在の中でご発言をいただけてなかった委員さん4名から一言ずつ、終わりにあたって発言いただければと思ひます。

○委 員： 10年にわたって地域審議会があったわけですが、この後、これで終わったというだけでなく、さらに豊田地域が発展しますように願ひまして一言とさせていただけます。

○議 長： ありがとうございました。

○委 員： 豊田支所のあり方についての検討ということでお話しいただいて、なくなりそうな感じなのでごくショックを受けています。存続していつて欲しいと強く願ひております。それとここには書いてないですが、全国的にふるさと納税がいろいろと話題になっていますが、中野市はどのような状況でしょうか。

- 議長： 回答については後ほどということでもよろしくお願いします。
- 委員： 小よろしく申し上げます。先ほど●●さんからも質問がありましたが、やはり上今井の内水問題については非常に困ったことだと思っております。ポンプを回しても内水の方が早く溜まってしまうということで樋門をまた上げなければならないといったような状況が毎回見受けられるわけです。固定式を付けていただけるということではありますが、なかなか排水ポンプだけで間に合うものなのかなと、たいへん不安な思いであります。災害が起こらないように十分検討をいただければと思います。
- 委員： この後の懇談会の際にお礼を申し上げようかと思っていたんですけども、たまたま今、区長という立場で豊田支所の職員方、本庁の職員の方にお願いに上がりますと迅速に対応していただいて本当に助かっております。区長とすれば市が拠りどころになりますので、先ほど支所の話もありましたけれども、できれば豊田地区として支所を、行政改革の中でもありますけれども、人員配備をしていただいて存続していただくようお願いしたいとおもいます。ありがとうございます。
- 議長： それでは最後になりますけれども、先ほどのふるさと納税の関係でお願いします。
- 総務部長： 手元に資料がないので数的に細かい話はできないのですが、中野市でもふるさと納税いただいている方かなり増えております。市ではだいたい頂いた金額の概ね3分の1を市の農産物等をお返しをしまして、今年、500万円ほどの予定でいたのですがかなり増えております。ですから新年度、来年度には約6倍、3,600円ぐらいを予算上は見込んでおります。ただ、全国の市町村、競争の様相を呈してしまっていて、隣の飯山市さんなんかはかなり大きな金額になっていると聞いております。ただ、お返しの率も多かったり、パソコンのタブレットをお返しするとかですね、そのようなことをされているようなんですが、中野市の方もなるべくたくさん頂戴できるように工夫をこらしていきたいと思っております。よろしくお願いします。
- 委員： 農産物なんですけれども、具体的に何を送っているんでしょうか。
- 総務部長： リンゴですとか、市で作っておりますギフトのパフレットの中からお選びをいただいたりして市でお送りさせていただいております。
- 委員： ありがとうございます。

○議 長： よろしいでしょうか。

○委 員： よろしいでしょうか。

○議 長： はい。

○委 員： 最後まですいません。豊田支所のあり方を考える中で、市の庁舎の問題、今、いろんな問題が出ています。こないだ他の会議でも言ったんですけども、長野県の中核都市、長野市を含めて須坂、小布施、飯綱町、千曲市まで入ってますかね、広いところを中核都市と設定するという考えがあるということなんですけれども、そうすると中野市は長野市には接していませんが、中野飯山、とにかく北信地方事務所管内ということで考えます。そんな中で、おそらくなんだかんだしていくと中野あたりが中心になるかなと、そう思ってその庁舎を考えた中で、今、計画が出されている南側建設ということなんですけれども、これに対して懸念することがたくさんあります。本当に北信6市町村の顔になるべき庁舎でございます。これ、どうしても北側に駐車場があるという20メートルの高さだと冬至の時の日の角度は30度、これを計算しますと役35メートル日陰になります。豪雪のこの地域、非常にたいへんかなと思います。ロードヒーティングを設置すればこれまたお金がかかってしまう。そうであるなら、本当は南に駐車場があると、除雪すればお日様の暖かさで雪が溶けてくれる。こういったことを考えながら、短いスパンでなくて長い、建てればそこに60年建っていると、こんな考え方もあります。車のように買い替えはできないと思います。いろんな考え方をしながら、この中野市のというか、この広域の本当にたいへんなことになっちゃうのかなと、そんな懸念を申し上げます。

それともう1つ、もう終わってしまうのですが、合併特例債の使い方、何度か質問したんですけど、合併は新市の一体性の速やかな確立と新市の均衡ある発展に資する事業と新市建設の効果を推進するいろんな施設という項目があります。役8対2で合併した豊田地域、合併特例債の恩恵に目に見えてあざかったものはなかったかなと、非常に残念でしかたありません。このへんについて、もし何かお話してくださる方いらっしゃったらお願いします。

○市 長： 具体的な積算をしたわけではないんですが、全体の市となって、地理学上の境界で豊田に何かをつくるとかということ以外に、市全体として効果がある、例えば道路もそうですけれども、そういったことには使われてきておりますし、合併特例債基金を発行して積み立ておくというようなこと

もしております。8対2というような比例配分的な考えばかりでは、実は合併というのは成り立ちえないということなんですね。庁舎の問題もございましたけれども、これにつきましても若干、私の説明不足があって、私の考え自体をお伝えしきれてないという部分もありますが、これから今日、あちらに松野議員もいらっしゃいますので、議会等で私の考えを披露する中で、その点もまたお答え申し上げたいと思いますが、10周年をむかえまして、とにかくこれからは一体となって中野市全体を盛り上げていきたい、また加えまして、お酒の席でと思ったんですが、豊田のポテンシャルは様々変わってくるということだと思います。先ほど言いました道路が開けて飯山とバイパスでつながってきます。私的な話ですが、こないだ私の家内がオペラをやったんですが、オペラの会はこの豊田の施設で公演をやるという計画、何でそうなったのかというと、長野、松本からくる人たちは高速降りて近いというようなことも言っています。そんなような立地条件というのは高速交通とか交通網の改良などで大きく変わってきて、この地籍はさらにポテンシャルが上がると私は確信しております。そんなことも含めまして、先ほど冒頭でも申し上げましたこれを限りにということではございません、これがまさにスタートで10年経ちました、これから将来に向けて一緒に地域振興、経済振興にあたっていきたいと思っておりますので、引き続きご忌憚のないご意見を、いつでも門戸というかドアを開けてますので、おっしゃっていただけたらと思います。よろしくどうぞお願いします。

○議 長： ありがとうございます。約束の時間を若干過ぎましたが、これで閉じさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。

○各 委 員： はい。

○議 長： それでは、議事進行にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。事務局にお返しします。

## 5 その他

〔事務連絡〕懇談会について

## 6 閉 会 【豊田支所長】